

研究機関：広島大学

研究課題名	膵癌の早期診断確立のための実態調査 多施設共同研究		
研究責任者名	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 茶山 一彰		
研究期間	2016年6月16日 ~ 2019年1月		
対象者	平成18年1月1日から平成27年12月31日までに、広島大学病院で外科的手術が施行され、病理組織学的に通常型膵管癌の上皮内癌を含む Stage 0 もしくは Stage I と診断された患者さんを対象とします。		
意義・目的	膵臓癌は診断されたときには高度な進行癌であることが多く難治癌とされています。早期発見が難しく、Stage 0 もしくは Stage I の膵臓癌の臨床的な特徴についてはまだ解明されていません。今回、Stage 0 もしくは Stage I の臨床的な特徴を明らかにするためにこの研究が計画されました。		
方法	本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。 カルテから転記する内容は年齢、性別、A.受診動機（検診、症状の有無、他疾患スクリーニング中の発見）、受診時の画像診断、血液検査（アミラーゼ、CEA、CA19-9）、症状、B.診断に用いた画像診断（US、CT、MRI、EUS、EUS-FNA、ERCP、FDG-PET）とその画像所見、C.治療術式、術前後治療方法、D.病理診断、病巣の範囲、大きさ、局所進展度、リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無、E.予後などです。 （個人が特定出来る情報は転記しません）		
共同研究機関	以下の機関と共同で研究します。 手稲溪仁会病院、東北大学、東京女子医科大学、静岡県立病院、長野市民病院、金沢大学、愛知県がんセンター中央病院、京都府立医科大学、近畿大学、川崎医科大学、JA 尾道総合病院、県立広島病院、九州大学、福岡大学筑紫病院（東北大学に情報を集め解析します）		
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。		
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5192 広島大学病院消化器・代謝内科 助教 石井康隆 クリニカルスタッフ 河村良太		